

平成29年度版 高等学校芸術科「書Ⅰ」

教授資料付属 硬筆ワークシート

光村図書出版株式会社



サンプル版

学習日

月 日

孔子廟堂碑 ワークシート

(教科書 P 14、17)

名前

年 組 番

①「孔子廟堂碑」について、空欄に当てはまる語句を記入し、解説文を完成させましょう。

・「① (時代)」の「②」が孔子廟を再建したことを記念して立てられた碑。「③」が碑文の作成、書写ともに担当した。最も完成度の高い「④」の一つとして知られている。(教科書 P 12、16 ページ参照)

・「⑤」で柔軟な点画を、淡々と離し気味に組み合わせることで、文字が落ち着いたたたずまいを見せる。

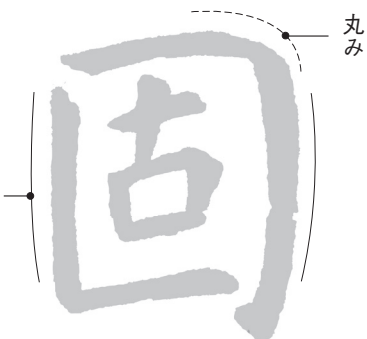
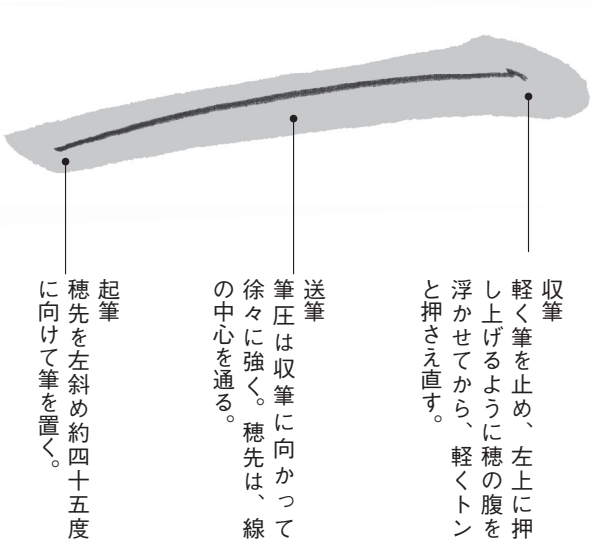
④	①
⑤	②
	③

②「孔子廟堂碑」の書風を捉えましょう。

① ゆったりとした用筆を意識して、「一」を指でなぞり書きしましょう。

② 「固」の解説文の()に当てはまる語句を書きましょう。

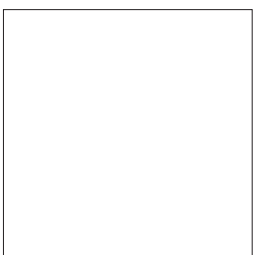
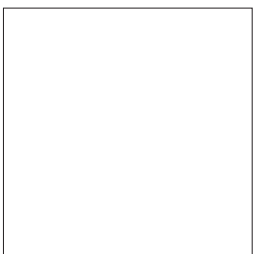
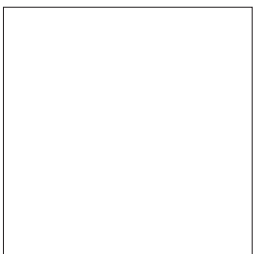
③ 「孔子廟堂碑」の書風を意識して、「固」の骨書き(点画の中心線のこと)を書き込みましょう。



④ 右払いを緩やかに、長めに書くように、伸びやかな点画も「孔子廟堂碑」の特徴です。「伸びやかな点画」を含む文字を、教科書 14、15 ページから探して書き込みましょう。

(例)

史



学習日

月 日

蘭亭序 ワークシート

(教科書 P 42・51)

名前

年 組 番

① 空欄に当てはまる語句を記入し、解説文を完成させましょう。

・「① (時代)」の永和九年三月、「②」は会稽山の麓にある「③」に名士を招き、詩会を催した。このとき書いた詩集の序文の草稿が「蘭亭序」の原跡であるとされる。現在伝わる複製の中でも主要なものは、「④」の頃に制作された。「⑤ (書体名)」の名品として伝わる。

④	①
⑤	②
	③

② 「蘭亭序」の書風を捉えましょう。

① 抑揚を利かせた用筆を意識しながら「能」を指でなぞりましょう。

穂先を利かせて勢いを止めずに方向を変える。

穂先の向きに注意しながら滑らかに筆を運ぶ。

一度筆を止め、折り返して次の画に向かう。

ぐっと下まで筆を進めたら、筆を少し浮かせ、そのまま一気に上へ。



② 「蘭亭序」には「懷」という字が五回出てきます。多様な書きぶりを意識しながら用筆や字形の違いをよく見て写しましょう。また、文字の下の「」に、出てきた行数をメモしておきましょう。(教科書 43・46 ページ参照)

[]

[]

[]

[]

[]

学習日

月 日

高野切第三種 ワークシート

(教科書 P 80 - 83)

名前

年 組 番

① 空欄に当てはまる語句を記入し、解説文を完成させましょう。

・「高野切」は、現存最古の『①』の写本である。もとは「②」本であったと考えられ、後世に断簡(分断された一部)が「③」に伝わったことから「高野切」の名がある。「④」の書と伝えられてきたが、三人の名人が分担して揮毫したもので、それぞれ第一種、第二種、第三種とよばれる。

・第三種は、むだのない伸びやかな線質で、文字と文字を続けて書く「⑤」が見られる。

④	①
⑤	②
	③

② 「高野切第三種」の書風を捉えましょう。

① 次の(ア)～(エ)から意連が見られる文字、形連が見られる文字を選んで、空欄に記号を書きましょう。

(ア) け、と (イ) へ、に (ウ) へ、に (エ) へ、に

意連

形連

② 次の文字を、連綿を意識しながら鉛筆でなぞりましょう。また、それぞれの文字の読み方を書きましょう。

読み方 ()

()

()

()

()

()

け、と

へ、に

学習日
月 日

自分だけの「風」を表現しよう
創作カード (教科書 P 102 - 109)

名前	年 組 番
----	-------

自己評価・感想	作品の草稿	風のイメージ (温度、強さ・速さ、時期、場所、印象など)	書く言葉	出典 (自作ではない場合)
		● 用具・用材	● 紙面構成	● 書体・書風 創作の工夫